

2024年2月25日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**

第66巻第46号(通算3378号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

# しゅうほう 週報

教会標語

かみさまがすべてのひとと共におられる  
ことを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>  
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

[kyuho-church@koinonia.or.jp](mailto:kyuho-church@koinonia.or.jp)

神はこの世を大切に思い、ひとり子を差し出した。ひとり子に信頼をもって歩みを起こす人がみな、減びることなく、永遠のいのちを得るようになるためである。(ヨハネによる福音書3:16)

## レント(受難節) 第2主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂けます》

前奏(黙祷) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

招きの詞 詩編 18編 26-31節

始めの詞と賛美歌21-305番「イエスの担った十字架は」(1-2節) (©JASRAC)

消灯の詞

賛美歌 21-206番「七日の旅路」(©教団讚美歌委員会)

聖書 マルコによる福音書 11章 15-19節

お祈り

賛美歌 21-299番「うつりゆく世にも」(©教団讚美歌委員会)

メッセージ 「ひっくり返せ」 水谷 憲 牧師

賛美歌 21-497番「この世のつとめ」(©JASRAC)

主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

誕生者祝福式(\*) 水谷 憲 牧師

献げ物(\*\*)

派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

祝福 水谷 憲 牧師

後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讚美歌委員会)

報告 (4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\* みんなで今年度2月までにお生まれになった方をお祝いします。

\*\* 「献げ物(献金)」はご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 詩編 18編 26-31節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

26 あなたは忠実な者には忠実な方として／全き者には全き方として現れる。

27 清らかな者には清らかな／<sup>a</sup>心のゆがんだ者には曲がった態度をとる。

28 あなたは苦しむ民を救い／高ぶる目を低くする。

29 主よ、あなたは私の灯をともし／わが神は私の闇を照らす。

30 あなたによって、私は敵軍の中を駆け抜け／

わが神によって城壁を飛び越える。

31 神、その道は完全であり／主の仰せは練り清められている。

主は御もとに逃れる者すべての盾。 (脚注 a:「心の」は補足)

レント (受難節) 始めの詞

イエス・キリストが死から引き起こされたイースターまでの日曜日を除く 40 日間を「受難節」と言います。この期間にはイエス様の生涯や死の意味を考え、イエス様に従うとはどういうことなのかを聖書から聴きます。クリスマスの前には毎週ろうそくの光を灯しました。レントの期間にはろうそくの光を消しながら礼拝します。神と人とを大切にされたイエス・キリストに思いを馳せましょう。

消灯の詞 (参照: マタイによる福音書 26 章 47-56 節)

弟子の一人のユダが、イエス様を裏切ったことを思いながら、このろうそくを消します。

聖書 マルコによる福音書 11 章 15-19 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

15 それから、一行はエルサレムに来了。イエスは神殿の境内に入り、そこで売り買いしていた人々を追い出し始め、両替人の台や鳩を売る者の腰掛けを覆された。16 また、境内を通過して物を運ぶこともお許しにならなかった。17 そして、人々に教えて言われた。「こう書いてあるではないか。

『私の家は、すべての民の

祈りの家と呼ばれる。』

ところが、あなたがたは

それを強盗の巣にしてしまった。』

18 祭司長たちや律法学者たちはこれを聞いて、イエスをどのようにして殺そうかと謀った。群衆が皆その教えに心を打たれていたもので、彼らはイエスを恐れたからである。19 夕方になると、イエスは弟子たちと都の外に出て行かれた。

## 《先週のメッセージより》2月18日 受難節第1主日礼拝

「人はパンのみにて生きるにあらず」より

牛田匡牧師

聖書 マタイによる福音書 4章 1-11節

イエス様は宣教活動を始められる前に、荒れ野で悪魔から試みを受けられました。断食によって空腹を覚えられているイエス様に、「試みる者」が近づいてきて「これらの石がパンになるように命じたらどうだ」と言いました。それに対するイエス様の答えは「人はパンだけで生きる者ではなく、神の口から出る一つ一つの言葉によって生きる」でした。この言葉は「申命記」8章3節の引用ですが、その前後には古代イスラエルの民が、エジプトを脱出した後の40年間の荒れ野の旅において、必要な物が必要な時に必要なだけ備えられたことを思い出ささい、ということが記されています。言い換えるならば「人は神から与えられる全ての出来事によって生かされている」と理解することができます。また私たちの現実社会では、目に見えるパンに代表される、モノや金人が支配するために用いられていますが、神の恵みによって生かされていることを忘れて、モノや金によって人が人を支配することを許してはならない。また石をパンに換えるような奇跡で人をたぶらかすことはしない、ということも示されているのだと思います。

この地上では目に見える形として、パンにばかり目が行ってしまいがちですが、本当に大切なものはパンだけではありません。目に見えるモノばかりに目を注いでいる限り、そこには本当の命の神の働きは見出せないのではないのでしょうか。私たち自身が時として、悪魔によって試みられ、そしてまた悪魔のように自分や他人を分断し、裁いてしまうことがあるのではないのでしょうか。命の神の働きは、どこに働いておられるか。イエス様は今、どこにおられるか。そのことを問うことが求められているように思います。「人はパンのみにて生きるにあらず」。神から出る全てのもの、全ての恵み、全ての業の中に生かされている……。能登半島地震の被災地には、全国各地から多くの方々が、支援に現地入りされているようです。そのような支援者の方々の働きもまた「神の言葉（働き）」の一つです。その一方で財源も建築資材も、作業に携わる人手も不足しているにもかかわらず、大阪万博を強硬開催しようとしている人たちもいます。私たちは何によって生かされているか。何が最も大切なことか。そのことを心に留めながら、私たちは今日もここから歩み出して参ります。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 2月18日 受難節第1主日礼拝

礼拝出席 大人9名 子ども1名

献金 大人5,000円 中継視聴者数3回 感謝

礼拝後に釜ヶ崎支援のために187個のおにぎりを作り、いこい食堂にお届けして、四角公園でお配りさせて頂きました。どうもありがとうございました。

◎次週 2024年3月3日(日) 受難節第3主日礼拝

招きの詞 ヨハネによる福音書 8章 31b-32節

聖書 ヨハネによる福音書 6章 41-71節

メッセージ 「真実を語る時」牛田匡牧師

賛美歌 305番(©JASRAC)、58番(©JASRAC)、312(©教団讃美歌改訂委員会)

今年のレント(受難節・四旬節)は、2月14日(水)から3月30日(土)までです。レントの期間は、イエス様の生涯や十字架の意味、イエス様に従うとはどういうことかについて考える時です。



◎お知らせ

・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」は、ホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。

・本日の午後、14時~16時半にかけて、小阪教会にて河内地区合同壮年会が開催されます。テーマは「テーマ河内地区合同壮年会のこれからの歩みについて」で、礼拝の後に、2023年度の活動報告と会計報告。そして小阪教会壮年会の現状とこれからの歩みについての報告をベースにして、河内地区合同壮年会のこれからの歩みを考える全体協議が予定されています。どなたでもご参加ください。

・3月2日(土)13時半~15時半にかけて浪花教会にて、大阪教区人権侵害防止委員会主催の公開学習会「あなたにとって教会は安心できる場所ですか?」が開催されます。参加費は無料ですが、オンラインでの参加はできず、直接会場にお集まりいただく対面形式でのみご参加いただけます。

一人一人が傷つくことなく、安心して神さまと人とのつながりを大切にできる教会生活を送るために、まずは一緒に考えてみませんか。教会内のハラスメント問題に関心のある皆さま、一人でも多くの方のご参加をお待ちしています。浪花教会へのアクセスは、ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.naniwachurch.com/>

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
3/3	牛田匡牧師	ユーカリスト・教会を考える会
3/10	水谷憲牧師	
3/17	牛田匡牧師	
3/24	牛田匡牧師	

大阪教区人権侵害防止委員会  
公開学習会

「あなたにとって教会は  
安心できる場所ですか?」



今年度、人権侵害防止啓発チェックリスト付ポスターPART1とPART2を教区内の教会・伝道所に配布いたしました。

ハラスメントのない教会・伝道所をめざして、この学習会ではチェックリストを用いながら、みんなで考えていきたいと願っています。答えは一つではありません。

一人ひとりが傷つくことなく、安心して神さまと人との繋がりを大切にできる教会生活を送るために、まずは一緒に考えてみませんか。教会内のハラスメント問題に関心のある皆さま、一人でも多くの方のご参加をお待ちしています。

日時: 2024年3月2日(土)  
午後1時30分~3時30分

場所: 日本基督教団 浪花教会  
(大阪市中央区高麗橋2-6-2)  
詳しくは教会ホームページをご覧ください。

参加方法: 参加費無料、対面出席のみ  
※託児が必要な方は、下記連絡先へご連絡ください。

主催: 大阪教区人権侵害防止委員会  
【連絡先】TEL: 06-6231-4951  
E-mail: kitasenri.ch@gmail.com

